

会社名 EIZO 株式会社
代表者名 取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号 6737 東証第一部)
問合せ先 執行役員総務部長 小島 秀典
電話番号 076(275)4121

新工場棟竣工のお知らせ

EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛祥隆)は、このたび、コンピュータ用モニター(主に特定用途向け)の増産を目的として、石川県白山市の本社敷地内で建設を進めてきた新工場棟(C棟)が完成し、竣工の運びとなりましたのでお知らせします。

新工場は、当社グループにおいて本社工場(S棟/石川県白山市)、EIZOエムエス株式会社羽咋工場(石川県羽咋市)、同七尾工場(石川県七尾市)に続く国内4番目の生産拠点となり、従来の生産能力に対して30%の能力増強が可能となります。

当社ではこの度の生産能力増強により、メディカル用・産業用途等の特定用途向けモニターの更なる需要の増加に対応し、ビジネスを拡大してまいります。

1.新工場棟の特徴

①既設工場棟と接続し効率的な運営を実現:

新工場棟(C棟)は隣接する既設の工場棟(S棟/延べ床面積13,000㎡、鉄筋地上4階建て)と2、3、4階部分が渡り廊下により接続しており、工場全体の効率的な生産体制の拡充を図ると共に、将来の需要拡大にも柔軟に対応可能な生産、物流スペースを確保しました。

②修理拠点の集約:

コンピュータ用モニターのリペア、メンテナンスなどのアフターサポートを担うEIZOメンテナンスセンター(石川県七尾市)の機能を新工場棟5階に移設し、分散していた修理拠点の集約を図ると共に、本社品質保証部門、開発部門に隣接した地点で業務を行うことで、製品サポート体制を拡充します。

③太陽光発電設備:

新工場棟の屋上スペースに太陽光パネル(約180kw)を設置しております。また、雨水調整池用地にも太陽光パネル(約250kw)を設置しております。

※法定で定められた雨水調整池要件に影響を与えないよう配慮しています。

2.新工場棟の概要

- (1) 所在地:石川県白山市下柏野町153番地
- (2) 建屋概要:延床面積 約15,000㎡ 鉄骨地上5階建
- (3) 主な用途:生産ライン、倉庫、修理サポート施設、試験評価施設
- (4) 主な生産製品:コンピュータ用モニター(主に特定用途向け)
- (5) 工期:着工2015年2月、竣工2016年2月
- (6) 稼働開始予定:2016年6月
- (7) 投資金額:約30億円

3.新工場棟外観



以上